

新年の抱負

栃木県経済同友会会報原稿

栃木県の次の150年に備え、宇都宮市は「政令指定都市」を、県南・県北の市町は「中核市」を目指そう！

開倫塾

塾長 林明夫

(一般社団法人栃木県生産性本部会長)

明けましておめでとうございます。

去年は、栃木県誕生 150 年を迎え、素晴らしい1年でした。

栃木県の更なる活性化を目指すために、県都宇都宮市は、人口要件が 50 万人以上に緩和された「政令指定都市」を目指すことを提言いたします。

また、県内各市は、近隣市町と十分話し合い、市民各位の合意を得た上で、人口要件が 20 万人以上に緩和された「中核市」を目指すことを提言いたします。

人口 50 万人を超え、ライトレールで勢いづいた県都宇都宮市が「政令指定都市」を目指し、県南・県北が十分話し合い、力を合わせて「中核市」を目指せば、栃木県は一気に活気づき、日本の地方創生のベストプラクティス(模範)となると確信します。

目指すは、シニア・女性・外国人材を含め、若者や中堅の方々が活躍できる、栃木県の創生です。

中学生や高校生は「調べ学習」や「探究型学習」で、大学生や専門学校生は「地域デザイン」や「地域おこし」の研究で、栃木県や自らが暮らす市・町の発展に貢献しようと本気で取り組んでいます。

国の制度が変わり、「政令指定都市」の人口要件が 50 万人以上、「中核市」の人口要件が 20 万人以上と「緩和」されましたので、宇都宮市は「政令指定都市」を、県内各市町は「中核市」を目指し、栃木県の次の 150 年に備えましょう！

○今年も大いに「本質に迫る議論」をいたしましょう。

○今年もよろしく願いいたします。

